「主の恵みを数えて感謝する」詩篇１０３篇　　１８・１２・３０

Ⅰ　命、衣、食、住が与えられ、他のすべての恵み。１年間の必要の満たし。

１．「今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くしてくださらないでしょうか。…まず神の国と神の義（みこころ、聖さ、神との正しい親しい関係）を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます」

マタイ６：３０－３３。

「衣食があれば、それで満足（感謝）すべきです」Ⅰテモテ６：８。

「金銭を愛する生活をせずに、今持っているもので満足（感謝）しなさい」ヘブル１３：５。

この１年間、主が、命、手、足、口、耳、目、内臓、食べる物、着る物、すべての必要を満たして下さり感謝します！

２．それぞれ、住む所が与えられ感謝します。地震の中の守り。

災害に遭われた方々の為に①災害に遭われた方々の為の祈り、できる支援。

②「私の家は守られて良かった」という自己中心の思いではなく、「命も、住まいも、すべて神の恵み、何一つ当然のものはない、当たり前の恵みはないという事を主が教えておられる。」という自覚から生まれる感謝。

３．それぞれの家族の守りの恵み。

もちろん、すべてがうまく行くという事ではない。それぞれ試練の中での神の支えの恵み。

※私の母の介護の証し。

私の母を熊本から北海道に迎えて約１０年。私の妻が特に良くお世話をしてくれました。私も、教会から我が家に戻ってからは、妻の重荷を少しでも軽くするために、できるだけ、母のお世話をさせていただきました。しかし、この１，２年で母の認知症が進みました。母のせいではなく、認知症の症状として、私の妻が、「〇〇を取った」と言う事が増え、ほか被害妄想が増え、昼と夜の区別も難しくなり、私は、夜中にも起こされ、安心して眠れなくなって来ました。そのような限界の中で、ケアーマネージャーの方が、「堀田さんご夫婦は、もう充分、介護されました。これ以上なさると、堀田さんご夫婦が倒れてしまいます。お母さんを私どもの施設でお預かりしましょう」と言って下さいました。

「神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます」Ⅰコリント１０：１３。

※家族の介護の在り方は、それぞれに神からの導きがあると思います。お互い他の人に、一つの方法を要求しないようにしましょう。

「一人ひとり神から与えられた自分の賜物があるので、人それぞれの生き方があります」

Ⅰコリント７：７

Ⅱ　教会への主の恵み

１．毎週の礼拝、子供メッセージ、子供賛美、持寄りの交わり、分かち合い祈り合うグループ、執事会、グレース会、礼拝２部の祝福、ゴスペル教室による伝道。祈りのしおりが用いられている恵み。神が働かれる祈り合いの力。

２．神から与えられた賜物を生かし、感謝してのそれぞれの奉仕により教会が建て上げられている恵み。礼拝説教、礼拝司会、奏楽、受付、パワーポイントの作成、聖餐式準備、週報印刷、会計奉仕、礼拝２部の子供担当。祈りのしおりの作成。子供祝福式のお菓子の準備、ゴミ出しの協力、備品関係、持寄り、パソコン、誕生ケーキ作り、おにぎり、サンドイッチの準備、玄関や屋根の除雪、メールボックスに入れる奉仕、他。

３．教会の必要の満たし、会堂、駐車場（日鋼さんアスファルトへ）を感謝します。庭、芝、雨漏り、ストーブの修理を感謝します。それぞれの賜物が用いられての奉仕。

４．ファミリークリスマス、子供劇、子供クリスマス会、クリスマス礼拝の恵み。洗礼式の恵み。祝会での出し物で、それぞれの神からの賜物が生かされている恵み。

５．色々なところを通りながら、総会で全員一致で、後任の牧会者の招聘を決めることが出来た主の導きの恵み。自分達の教会は、どのような牧会者ご夫婦を求めているのかを確認させられた恵み。

①宣教師の方を尊敬し、協力して教会を建て上げる恵み。

②教職者ご夫婦が、互いに尊敬し合い、愛し合い、協力して牧会伝道をして下さる恵み。

③牧会者ご夫婦が神との命の交わり、つながりを持っておられる恵み。

Ⅲ　神がすべてを支配し、益として下さる恵み。個人の１年間も、教会全体の１年間も！

１．キリスト者の生涯には偶然というものは全くない。

「雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています」マタイ１０：２９，３０。

私達の人生、私たちの教会に、何かが、たまたま起こるという事は決してない。そこには神のご支配、ご計画、神の意図がある。私達個人個人と、私達キリスト者の集まりである教会が、偉大な神の御手にある事を知る以上に、慰めに満ちた素晴らしいことはない！

２．神は、万事を支配しておられる。神は主なる全能の神、宇宙の主であり、ご自身の永遠のみこころに従って、すべての事を動かしておられる。神は、神の温かい愛で私達を包んでおられる。したがって、何ものも、私達を害する事はできない。

「あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています」マタイ１０：３０。

３．「『わが子よ。主の訓練（苦しみ、試練）を軽んじてはならない。

主に叱られて気落ちしてはならない。

主はその愛する者を訓練し（苦しみ試練を与え、悔い改めさせ、神に立ち返らせられる）、

受け入れるすべての子に、

むち（愛する故の、苦しみ、罪に気付かせる辛い出来事）を加えられるのだから。』

訓練（主の聖い御姿への成長の為の）として耐え忍びなさい。

神はあなたがたを子（高価で尊い愛する子供、成長を願う子供）として扱っておられるのです。

父が訓練（愛のしつけ）しない子がいるでしょうか。…肉（人間の）の父はわずかの間、自分が良いと思うことにしたがって私たちを訓練しましたが、霊の父（私達を子として愛しておられる父なる神）は私たちの益（神のご性質に似る霊的成長）のために、私たちをご自分の聖さ（不品行からの聖め、神の聖なる品格）にあずからせようとして訓練されるのです。すべての訓練（苦しみや試練、どうしてこんな事が私に起きるのかと思える事）は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって苦しく思われるものですが、後になると、これによって鍛えられた人々に、義（神との正しい関係、義である主の姿への成長）という平安（自分の罪を悔い改め神に立ち帰り、神との親しい関係から生まれる平安）の実（御霊の実）を結ばせます」ヘブル１２：５－１１。